



愛知県をはじめとする中部、九州、東北の各地方で車両のサイズごとに生産を分担する(愛知県豊田市の堤工場)

強さの秘訣「現場力」

トヨタ自動車を筆頭にデンソーやアイシン精機、豊田自動織機などの世界的な部品メーカーが本拠地を置く愛知県は、自動車産業の先端集積地としての役割を果たしてきた。だが長く続く円高や国内自動車市場の伸び悩みもあり、県内では生産拠点を移転する動きに拍車がかかりそう。愛知県の自動車産業は正念場。モノづくりを守っていくには付加価値をさらに高めていく必要がある。

国内300万台を維持

「日本のモノづくりを支えているのは長い時間をかけて培った現場力。決してひいき目ではなく、強い現場力があるからこそ国内にモノづくりを残すことが必要だ」。

豊田章男トヨタ社長はつねづねこう口にする。この「現場力」をこれまで支えてきたのが愛知県だ。

競争力維持が至上命題

技術開発・コスト削減追求

愛知県の製造業を数字から見ると、まさにモノづくり王国の呼び名がふさわしい。経済産業省の工業統計の最新版では、2010年の製造品出荷額は38兆2108億円(前年比11・0%増)、付加価値額9兆9082億円(同12・7%増)、従業者数79万778人(同1・3%減)。

11年11月の記者会見で小沢哲副社長は「石にじりつくにしても、かじりつき方が重要」とした上で、三つの対策を打って

まずは国内販売台数を

生産台数の半分に当たる年間150万台程度まで高めること。次にエンジンや変速機などの主要ユニット部品の海外現地生産を進めること。3点

の海外展開は、従来のように欧米を中心とするだけにどまらず、中国や豪州アジア、中南米、近東・アフリカと全世界的な広がりをもせつつある。愛知県には輸送機器

の海外現地化を進めることだ。これらの対策は愛知県の製造業に大きな影響を与えそう。今のトヨタ



愛知県はPHVなど次世代自動車の普及を促す

自動車工業など子会社3社が合併し、トヨタ自動車東日本(宮城県大衡村)として発足。ハイブリッド車(HV)「アクア」をはじめとする小型車の生産を始めた。

大型車は九州、小型車は東北と生産拠点を分散。優秀な人材を確保しやすくすると併せて、現地で部品調達比率を高めることでコストを削減する。

こうした情勢に対処するため愛知県も動き出した。12年3月には「あいち自動車産業イノベーションプラン」を策定。20年までの早期に、製造品出荷額を年間40兆円台に復活・維持させることと、プラグインハイブリッド車(PHV)や電気自動車(EV)などの次世代自動車を県内新車登録台数の60%に高めることの2点を目標に掲げた。このために、次世代自動車のエネルギー充てんインフラの拡充や、県内企業への技術相談といった具体的な政策もセッ

トで取りそろえた。愛知県がこれからも「自動車王国」「モノづくり王国」の座を維持し続けていけるのか。県の支援策があつたとしても、やはり本道は企業の地道な努力にこそある。新技術開発やコスト削減など、県内企業の努力にかかっていると語る。ろう。

「モノづくり王国」の歴史紹介

「モノづくり王国」愛知県。その名も「TOYOTA」の歩みの一端を振り返られる。75。12年がトヨタ自動車設立大会が、愛知県長久手市の立75周年に当たるのを記念した特別展だ。



企画展「TOYOTA 75」には、トヨタ自動車の量産第1号車「トヨタAA型」も展示(オープニングイベントでのデモ走行)

トヨタ博物館で75周年特別展

通常はトヨタ以外の自動車も含め、歴代の名車を展示している博物館3階のフロアを、特別に模様替えしてトヨタ車で埋め尽くした。量産第1号車の「トヨタAA型」をはじめ、歴代のトヨタ車51台、5分の1スケールモデル48台を展示する。

トヨタを代表する車種である「カローラ」「クラウン」の歴代モデルをはじめ、「トヨタスポーツ800」や「パブリカ」など往年の有名車、最新の「86」や「レクサスLF-A」といったスポーツカーまで、代表的なクルマが居並ぶ姿は圧巻だ。しかもほとんどすべてが動態保存されており、実際に走れる。

開催期間は13年4月14日まで約6カ月間と、通常の企画展の2倍。入館料は大人1000円。歴代のトヨタ車に、日本のモータリゼーションとモノづくりの歩みを重ねあわせて考えるよい機会になるだろう。

東海ゴムは、もう、東海だけの会社ではありません。1988年に初の海外生産拠点を設立して以来、今では海外10カ国、34の拠点を展開するグローバルな総合高性能部品会社。自動車・IT・通信・電子機器から住宅まで幅広い事業分野をカバーし、世界的な変化に対応するグローバルな生産ネットワークづくりを進めています。東海から世界へ。ゴムから新分野へ。時代のニーズを先取りし、世界中で新たなチャレンジを続ける東海ゴムに、ご期待ください。

東海ゴム工業株式会社
http://www.tokai.co.jp/

●本社 〒485-8550 愛知県小牧市東三丁目1番地 ☎(0568) 77-2121 (代表)
●支社・支店・営業所/東京・大阪・広島・仙台・福岡 ●製作所/小牧・松阪・富士裾野

JTEKT

Koyo TOYODA

株式会社ジェイテクト
www.jtekt.co.jp

世界の道を走るジェイテクト



世界の道で、乗る人の「うれしさ」を学び続ける。



そのクルマは、ヨーロッパの石畳を走るかもしれない。
そのクルマは、灼熱の砂漠を走るかもしれない。
そのクルマは、極寒の凍結路を走るかもしれない。
アイシン 精機、特殊試験路、ここには世界のあらゆる道がある。
どんな環境でも満足してもらえる一台のために、このテストコースでコンピュータで究めた製品を、さらに、乗る人の気持ちになって鍛え上げていく。
すべては、クルマの部品やシステムの開発段階から、乗る人の「うれしさ」を学び、求められているものをカタチにするために。

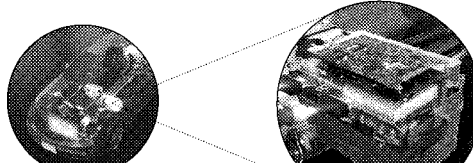
AISIN
One Team, Best Future

アイシン精機株式会社
〒448-8650 愛知県刈谷市朝日町2丁目1番地 www.aisin.co.jp

地球がずっと輝くために、クルマがずっと愛されるために。



ハイブリッドカーの進化。
そこに、デンソーの最新技術。



ハイブリッド用インバータ

クルマがずっと愛されるために
DENSO
www.denso.co.jp

自然と暮らしにつながる、モノづくり。



街や暮らしの、多彩なシーンに息づく技術。ページをめくると、豊田自動織機がそこに。

豊田自動織機
TOYOTA INDUSTRIES
www.toyota-shokki.co.jp



すべては、かけがえのない時間のために。

大切な人と絆を深める。家族と思い出を重ねていく。
そんなクルマの中で過ごす色とりどりの時間を、人生にとってかけがえのない一刻にしていきたい。
トヨタ紡織はその想いをエネルギーに、快適な移動空間の創造に取り組んでいます。

Design your passion
トヨタ紡織
TOYOTA BOSHOKU

トヨタ紡織株式会社 愛知県刈谷市豊田町1丁目1番地 www.toyota-boshoku.com